

JP61254369 A
PRINTER
CANON INC

Abstract:

PURPOSE: To enable a plurality of kinds of recording papers differing in width to be accurately fed without generating skewing or the like, by providing a paper guide of a paper feeder with a guide part according to different paper widths. **CONSTITUTION:** A guide member 9 is provided with bases 10, 10 on the lower surface thereof, while a paper guide 5 is provided with a plurality of pairs of fitting holes 5aW5c for the bases 10, 10 in correspondence with paper widths. Accordingly, by changing the fitting position of the guide member 9, the distance from a guide frame 6 or 7 to the guide member 9 can be changed, so that a recording paper can be accurately guided according to the width thereof without generating skewing or the like, and a plurality of kinds of recording papers differing in width can be used.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

Inventor(s):

NAGOSHI SHIGEYASU

Application No. 60095982 **JP**60095982 **JP**, **Filed** 19850508, **A1 Published** 19861112

Original IPC(1-7): B41J01314
B65H02328

Patents Citing This One No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報(A)

昭61-254369

⑰ Int.Cl.⁴

B 41 J 13/14
B 65 H 23/28

識別記号

庁内整理番号

2107-2C
6758-3F

⑱ 公開 昭和61年(1986)11月12日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑲ 発明の名称 プリンタ

⑳ 特 願 昭60-95982

㉑ 出 願 昭60(1985)5月8日

㉒ 発 明 者 名 越 重 泰 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内
㉓ 出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
㉔ 代 理 人 弁理士 加藤 卓

明 細 書

1. 発明の名称

プリンタ

2. 特許請求の範囲

1) 記録紙を案内するペーパーガイドを有し、記録紙をプラテン側へ送る紙送り装置を備えたプリンタにおいて、前記ペーパーガイド部に記録紙の紙幅に応じて複数種類の案内部を設けたことを特徴とするプリンタ。

2) 案内部はペーパーガイドに形成された段付きの溝であることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のプリンタ。

3) 案内部は紙幅に応じてペーパーガイド側にその位置を変えて着脱できるガイド部材であることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のプリンタ。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はプリンタに係り、さらに詳しくは異なった紙幅の記録紙を送ることができる紙送り装

置を備えたプリンタに関するものである。

〔開示の概要〕

本明細書及び図面は記録紙を送るペーパーガイドを有しプラテン側へ記録紙を送る紙送り装置を備えたプリンタにおいてペーパーガイド側に記録紙の幅に応じた複数種類の案内部を設けることにより、紙幅の異なる複数種類の記録紙を確実に行うことができる技術を開示するものである。

〔従来の技術〕

従来のプリンタにおける紙送り装置部分を第4図に示す。

第4図において符号1で示すものはプラテンで、本例にあっては軸方向に3分割されたものとして例示されている。

プラテン1は紙押え板2の左右にある側板11、12間に回転自在に軸承されており、その一端側には側板の外側において、プラテンノブ1aが設けられている。

プラテン1の下部には紙送りローラ3、3が回転自在に設けられており、これら紙送りローラ

3, 3にはピンチローラ4, 4が接している。

ピンチローラ4, 4は紙押え板2の外側に配置され紙押え板2に形成された開口部2aを通して紙送りローラ3と接している。

また、プラテン1の後方にはペーパーガイド5が配置されており、ペーパーガイド5の両端側には案内枠6, 7が配置されている。

以上のような構造のもとに図示していない記録紙を送る場合には記録紙がペーパーガイド5の上側に位置し、その両端が左右の案内枠6, 7とペーパーガイド5との間に挟まれて送られ、紙送りローラ3とピンチローラ4との間を通り、紙送りローラ3による紙送り力によってプラテン1側に送られる。

〔発明が解決しようとする問題点〕

ところが記録紙の紙幅が左右の案内枠6, 7間の距離よりも小さくなると記録紙の両端を支持するものが無いため、正常な紙送りが行なえないという問題点があった。

〔問題点を解決するための手段〕

が生じることなく正確に紙送りすることができ

る。
なお、上述した実施例にあっては案内部を構成する溝8が1個のみ形成されている例を示したが、例えばA4, B5等の紙幅に合わせて複数段の段付きの溝を形成すれば、複数種類の紙幅の異なる記録紙にも適用することができる。

このように紙幅に合わせて段付きの溝を設ける構造であれば、溝内に挿入される記録紙はその屈曲率が低減され、腰の強いハガキ等にも無理なく印字できる。

また溝を有したペーパーガイドをセールド等で一体成形できるため、構造が簡略化され、組立も大幅に容易になる。

〔第2実施例〕

第3図は本発明の第2の実施例を説明するもので、本実施例にあっては案内部として着脱自在なガイド部材9を設けた構造を採用している。

即ち、ガイド部材9はその下面に脚10, 10を有しペーパーガイド5側に紙幅に合わせて脚

本発明においては上述した問題点を解決するためにペーパーガイド部分に複数種類の紙幅に対応した案内部を設けた構造を採用した。

〔作用〕

上述した構造を採用すると異なった紙幅に応じていずれか1つの案内部を利用でき、複数種類の紙幅の異なる記録紙を正確に送ることができる。

〔実施例〕

以下、図面に示す実施例に基づいて本発明の詳細を説明する。

〔第1実施例〕

第1図及び第2図は本発明の第1の実施例を説明するもので、各図中第4図と同一部分には同一符号を付しその説明は省略する。

本実施例にあってはペーパーガイド5の途中に1段低くなった溝8を設けてある。

この溝8の幅は例えばハガキ等の幅に合わせて形成してある。

このような溝8を設けることにより異なった紙幅の記録紙の案内部を設けることができ、斜行等

10, 10が嵌合する嵌合孔5a~5cを2個1組ずつ複数組設けた。

このような構造を採用するとガイド部材7の取付け位置を変えることにより案内枠6あるいは7からガイド部材9までの距離を変化させることができ、紙幅に応じて記録紙を案内することができ、複数種類の異なった紙幅の記録紙を用いることができる。

〔効果〕

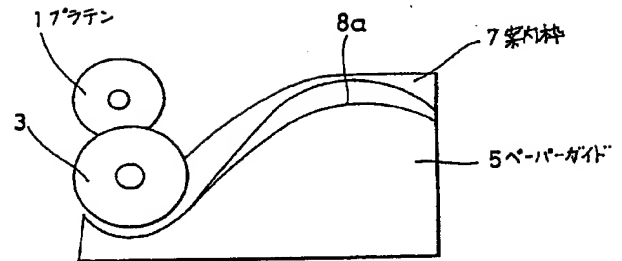
以上の説明から明らかなように本発明によれば紙送り装置のペーパーガイドに異なった紙幅に対応した案内部を設けた構造を採用しているため、複数種類の異なった紙幅の記録紙を使用することができ、しかも斜行等を生じず、正確に記録紙を送ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本発明の第1の実施例を説明する斜視図及び縦断側面図、第3図は本発明の第2の実施例を説明する斜視図、第4図は従来構造を説明する斜視図である。

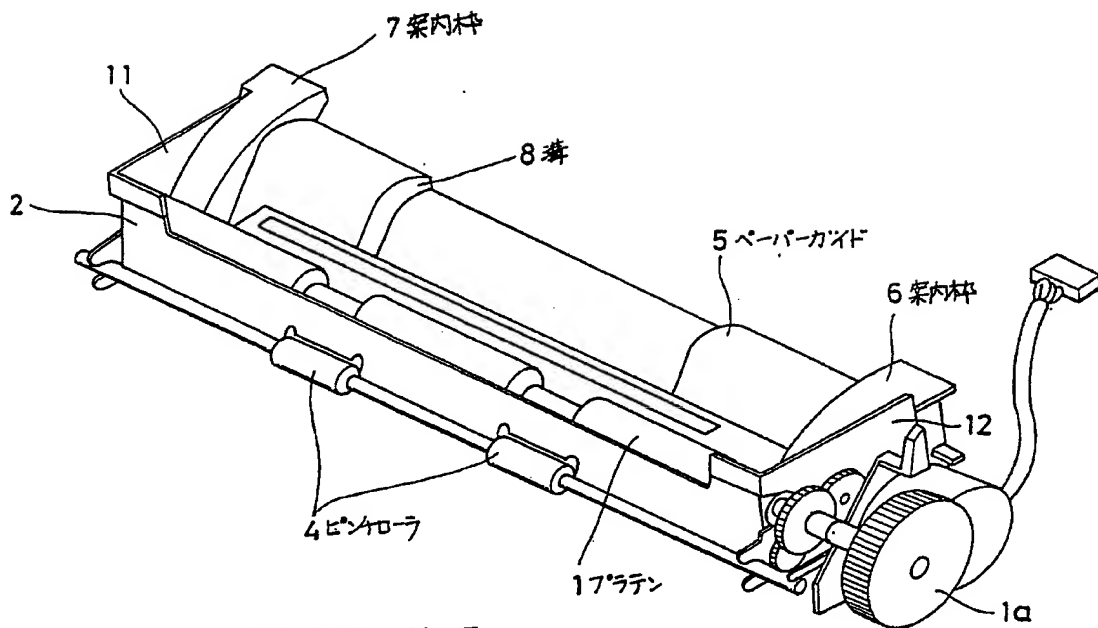
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 ... プラテン | 2 ... 紙押え板 |
| 3 ... 紙送りローラ | 4 ... ピンチローラ |
| 5 ... ペーパーガイド | 6, 7 ... 案内枠 |
| 8 ... 溝 | 9 ... ガイド部材 |

特許出願人 キヤノン株式会社
 代理人 弁理士 加藤 卓



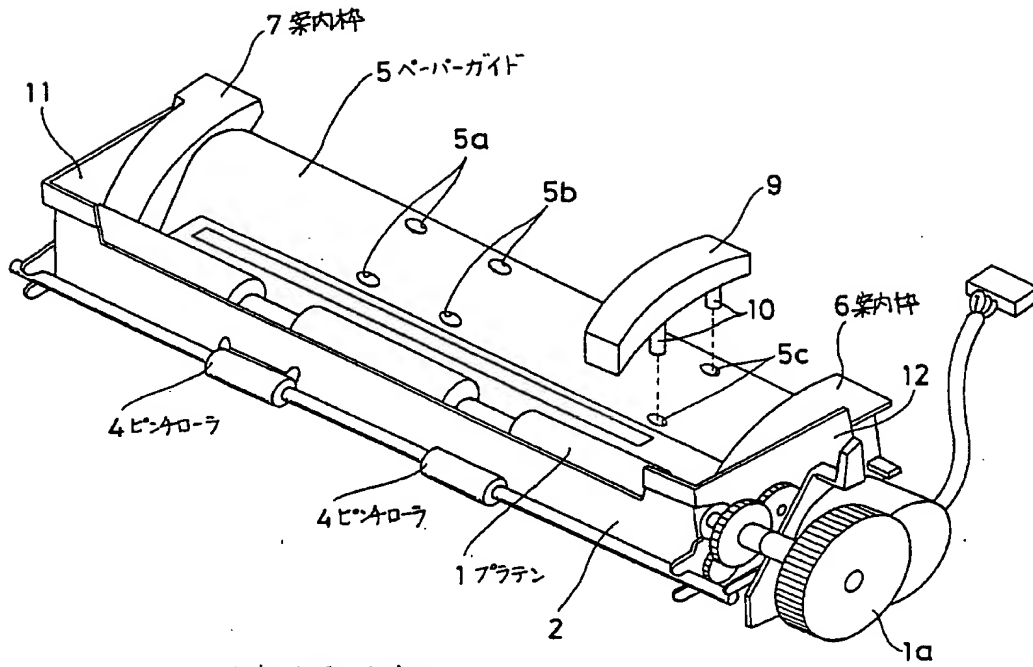
紙送り装置の縦断側面図

第 2 図



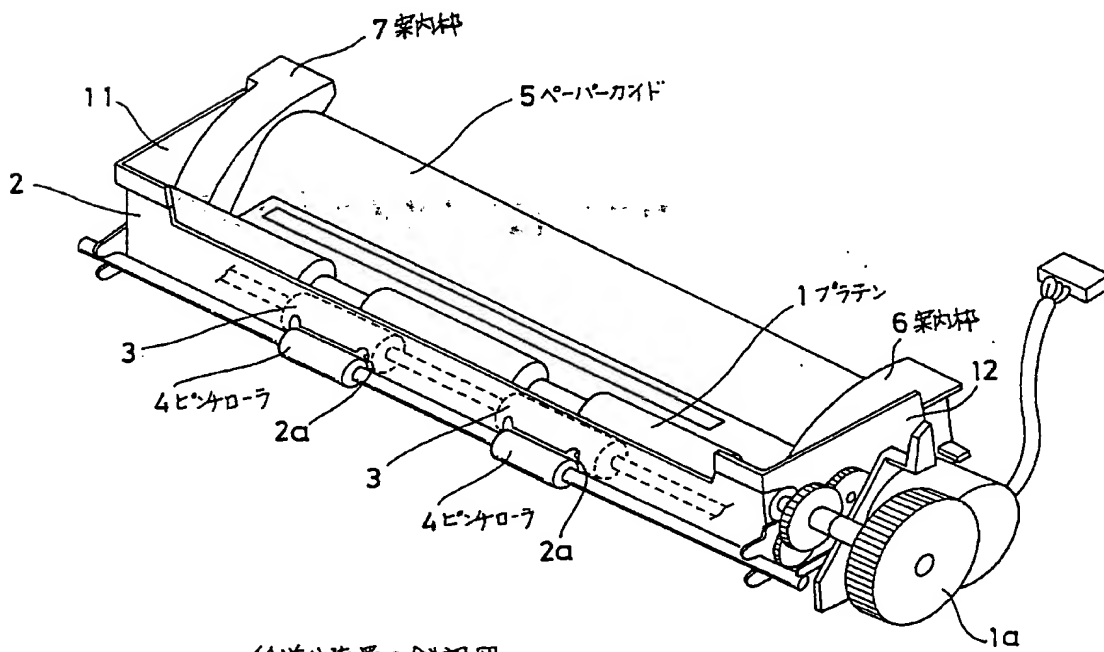
紙送り装置の斜視図

第 1 図



紙送り装置の斜視図

第 3 図



紙送り装置の斜視図

第 4 図

This Page Blank (uspto)